

公開情報資料

整理番号	2023.04-2	
研究課題名	心疾患の摂食嚥下障害を有する患者の特徴及び治療経過について検討する	
研究期間	2021年1月～2022年12月まで	
研究目的	<p>心不全患者において低栄養状態と判定される割合は50～80%前後と示されている。低栄養状態に伴う骨格筋機能低下により入院後の数日間の絶食であっても骨格筋の収縮力、持久性の低下が嚥下障害を引き起こす可能性がある。</p> <p>当院で入院医療した心疾患患者における摂食嚥下障害の有無及び治療経過について調査し実態を明らかにする</p>	
研究方法	研究対象範囲	2021年1月～2022年12月まで 当院で入院加療した心疾患患者
	利用する情報等	<p>入院後、診療・治療上の検査・測定によって得られた研究対象者の下記各種データを収集しデータ登録を行う</p> <p>① 基本情報：年齢、性別、身体計測、介護保険認定、独居・支援</p> <p>② 医学的情報：診断名、重症度、既往歴、心臓超音波検査(LVEF)、血液データ、</p> <p>③ 入院期間、転帰先</p> <p>④ 摂食嚥下障害の有無（入院前・入院中）</p> <p>⑤ 心臓リハビリテーションの進行（理学療法及び摂食嚥下）</p> <p>⑥ 栄養状態：CONUT, GNRI</p> <p>⑦ 入院後の絶食期間</p> <p>⑧ 抗精神病薬使用の有無</p> <p>⑨ 予後：1年以内の死亡、再入院の有無</p>
	利用方法	入院後、診療・治療上の検査・測定によって得られた研究対象者の下記各種データを収集しデータ登録を行う
	他機関への提供	特になし
研究責任者	安藤可織	

問合せ先

岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。